

[成果情報名]薄紫ピンク色で大輪のスプレーカーネーション新品種「ほほえみ」の特性

[要約] 「ほほえみ」はスプレータイプの大輪で花色は薄紫ピンク色、丸弁の中生系統で、「だいき」に比べ花径が大きく花弁数も多く、切り花に非常にボリュームがあるが、採花本数は1本少ない。二次花柄や無効側枝の発生も少なく、栽培管理や出荷調整時の省力化に繋がる。

[キーワード]カーネーション、スプレータイプ、丸弁

[担当]長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・花き・生物工学研究室

[連絡先] (代表) 0957-26-3330

[区分]花き

[分類]普及

[作成年度]2018年度

[背景・ねらい]

カーネーションは、本県花き生産においてキクに次ぐ主要品目である。近年、輸入の増加により国際競争が一層激化し単価が低迷しており、また、燃油価格の高止まりや種苗費の上昇により県内農家の経営は厳しい状況にある。このため、単価向上、種苗費低減による経営改善を目指し、本県では2004年度からオリジナル品種の開発に取り組んでおりこれまで5品種を開発している。現在は、長崎カーネーションのブランド化に向けた流通量の多い花色の品種の開発、温暖化に対応した耐暑性品種の開発、及び萎凋細菌病抵抗性系統の開発に取り組んでいる。

ここでは、薄紫ピンク色の花色で大輪のスプレー新品種「ほほえみ」について、本県オリジナル品種の主力で同系列色の「だいき」を対照品種として品質、収量等を調査し、主要花色のピンク色に新たに「ほほえみ」を加え、長崎カーネーションのブランド化を一層推進する。

[成果の内容・特徴]

「ほほえみ」は、本センター所有の優良系統である「長崎 7465」と本センター開発の「あこがれ」を2014年に交配して得られた実生から選抜した系統で、以下の特徴を有する。

1. 花色は、薄紫ピンク色 (RHS-カラーチャート RED-PURPLE GROUP 62-C) で、花弁は丸弁である (写真1、写真2)。
2. 切り花長は、採花開始頃から70cm以上が確保でき「だいき」と同等である。切り花重も採花開始頃から40g以上あり、期間を通して「だいき」より重くなる。また、年明けの有効花蕾数は4輪位で、その後、5輪、6輪と増加する (表1、表2)。
3. 下垂度は11月以降1台となるが、花が重いため「だいき」よりやや劣る (表1、表2)。
4. 「だいき」に比べ、採花本数は5月中旬までで6.8、7.8本で、1本少ない。また、6月21、22日定植で10月28日採花開始となる中生系統で、10日位早くなる (表1、表2)。
5. 現地での採花本数は、「だいき」とほぼ同程度である (表3)。
6. 「だいき」に比べ、花径は2cm位大きく、花弁数は2倍以上となる約80枚となり、切り花に非常にボリュームがある。また、二次花柄数は1本以上少なく、無効側枝数も3本弱少なくなり、栽培管理や出荷調整時の省力化が期待できる (表4、写真1、写真2)。
7. 「だいき」に比べ、花持ちは前処理区では同等、無処理区では2日長くなる (表4)。

[成果の活用面・留意点]

1. 2018年10月25日に品種登録出願公表となった (出願番号33169)。
2. 主要花色のピンク色は色の差異により産地で5品種位作付されており、今後中輪の「だいき」、大輪の「ほほえみ」の二本立てで長崎カーネーションのブランド化を一層推進する。
3. 「ほほえみ」は、2019年6月、県内3産地で計4,000株が初作付される予定である。
4. 現地で加温温度不足が原因と考えられるがく割れが発生した事例があるため注意を要する。

※耕種概要(長崎県農林技術開発センター)

年度	調査株数	定植日	ハウス規格	栽植様式	栽植密度	一次摘心	二次摘心	三次摘心	加温	採花
2016年	10本	6月22日	ビニールパイプ	隔離ベンチ	14,000株/10a	7月13日	8月下旬	9月下旬	12℃設定	2輪開花時
2017年	24本	6月21日		10×10cm7目ネット2条植え			9月上旬	10月上旬		

[具体的データ]



写真1 「ほほえみ」(左)と「だいすき」(右)の花型と花色



写真2 「ほほえみ」の草姿

表1 「ほほえみ」の月別の切り花品質及び収量(2016年度)

品種名	採花開始日	月	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	有効花蕾数 (輪)	下垂度	採花本数/株 (本)	月別	累積 (本)	
ほほえみ	10月28日	10月	68.5	39.5	4.5	1.0	0.2	0.2		
		11月	70.3	43.1	4.0	1.7	1.9	2.1		
		12月	72.7	47.7	3.8	1.5	0.6	2.7		
		1月	77.2	56.2	4.6	1.0	0.5	3.2		
		2月	74.8	60.0	4.3	1.0	0.6	3.8		
		3月	80.1	89.3	5.9	1.0	0.9	4.7		
		4月	79.1	95.1	5.3	1.0	1.6	6.3		
		5月	84.8	109.0	6.6	1.0	0.5	6.8		

※1: 2017年5月19日まで調査。

※2: 下垂度は、切り花先端から50cmの位置で水平に保持し、下垂した角度。0~10°を1とし、90°までを9段階に分類した数値。

表2 「ほほえみ」の月別の切り花品質及び収量(2017年度)

品種名	採花開始日	月	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	有効花蕾数 (輪)	下垂度	採花本数/株 (本)	月別	累積 (本)	
ほほえみ	10月28日	10月	72.3	40.0	4.3	3.0	0.1	0.1		
		11月	76.5	44.1	3.6	1.7	1.2	1.3		
		12月	77.2	46.3	4.0	1.8	1.0	2.3		
		1月	79.9	52.7	3.9	1.3	1.4	3.7		
		2月	84.7	65.4	4.6	1.0	0.8	4.5		
		3月	86.7	82.7	5.3	1.0	0.9	5.4		
		4月	86.7	98.7	6.1	1.0	1.2	6.6		
		5月	83.7	86.2	6.3	1.0	1.3	7.8		
だいすき	11月6日	10月	68.0	32.0	5.0	1.0	0.0	0.0		
		11月	78.7	37.4	5.0	1.0	1.5	1.5		
		12月	78.7	38.3	4.8	1.0	2.3	3.8		
		1月	79.6	45.6	5.1	1.0	0.8	4.5		
		2月	81.7	54.5	5.0	1.0	0.4	5.0		
		3月	78.4	64.4	6.5	1.0	0.5	5.4		
		4月	78.7	72.7	8.1	1.0	1.7	7.1		
		5月	79.5	61.6	7.9	1.0	1.7	8.8		

※1: 2018年5月21日まで調査。

※2: 下垂度は表1に同じ。

表3 「ほほえみ」の現地での切り花収量(2017年度)

品種	採花本数/株 (本)	試作地	定植時期	調査日
ほほえみ	5.3	大村市	6月	5月
だいすき	6.7		末	22日
ほほえみ	6.0	諫早市	6月	5月
だいすき	5.6		下旬	22日

表4 「ほほえみ」の切り花形質及び花持ち(2017年度)

品種名	花径 (cm)	花弁数 (枚)	花梗長 (cm)	二次花柄数 (本)	二次花柄長 (cm)	無効側枝数 (本)	花持ち日数	
							無処理	前処理
ほほえみ	6.4	79.7	10.9	0.8	3.3	0.45	12.2	13.2
だいすき	4.4	34.2	10.4	2.0	3.3	3.30	10.2	13.2

※1: 花の品質は12月4日~2月8日採花の切り花から8本を抽出し調査。

※2: 無効側枝数は12月13日~2月8日採花の切り花から40本を抽出し調査。

※3: 花持ち調査は12月15日~1月5日採花分で実施。2輪が外花弁水平状態の開花ステージで採花し、無処理区は水道水、前処理区はクリザールK-20C1000倍液に4℃で10時間水揚げ後、室温25℃、湿度60%、1000lux12時間日長に設定した恒温室で調査した。老化していない小花が2輪以下となった時点で調査終了。

[その他]

研究課題名: 温暖化に対応したカーネーション新品種の育成

予算区分: 県単

研究期間: 2014~2018年度

研究担当者: 竹邊丞市、渡川友理恵、植松紘一、渡部美貴子